

議 会 おおやまざき だ よ り



第 79 号

発行

平成29年 3 月 1 日

平成28年第 4 回定例会(12 月議会)

9,600万円を増額する平成28年度一般会計補正予算案可決!



▲発掘調査中の様子
昭和61年11月頃



▲新たに建てられた祠(正面)
平成29年1月現在



▲新たに建てられた祠
平成29年1月現在

表紙の写真

円明寺小字鳥居前にある石倉神社の祠

石倉神社では、祠に石を投げて、お祓いや無病息災を祈願するという風習が伝えられています。石を身代わりにして、この祠に思いを託したと言われているのです。境内の旧の状態は、高さ約3m、直径約6mの円形の丘の上に祠が祀られていました。このたび境内が整備されましたが、これ以前二度にわたって発掘調査が実施されています。調査の結果、伝承を裏付けるように約10cm前後の無数の石によって、丘が築かれていたことを確認しています。おそらく江戸時代から投石の風習があったと思われます。人々の思いが託された「石の丘」を記録として受け継ぎたいものです。石倉神社は、小倉神社の参道沿いに位置します。

大山崎町内にある文化財の一つとして紹介します。

参考文献：「京都乙訓・山城の伝説」京都新聞社1977年発行

主な内容

平成28年第 4 回定例会

一般質問要旨…………… 2 ～ 6
こんなことが決まりました…………… 7 ～ 10

審議結果…………… 11
議会のうごき等…………… 12

発行：大山崎町議会 編集：広報常任委員会 〒618-8501 京都府乙訓郡大山崎町字円明寺小字夏目3番地 ☎(075)956-2101(代)

町政を問う

一般

質問

第4回定例会(12月議会)では、9人の議員が一般質問に立ち、当面する本町の課題について、考えをいただきました。質問と答弁の内容を要約し、お知らせします。

一部要旨

波多野 庇砂議員……P 2

- ❖ 公共施設老朽化に係る財政リスクについて
- ❖ 中央公民館ホールの閉鎖について 他

前川 光議員……P 3

- ❖ 土砂災害における防災について 他

岸 孝雄議員……P 3

- ❖ 公共インフラ施設整備の維持整備改修事業の優先順位について
- ❖ 天王山の山林保全について(観光・環境・防災の観点から)

辻 真理子議員……P 4

- ❖ 学校給食について
- ❖ 高齢者が暮らしやすい町について 他

山中 一成議員……P 4

- ❖ 平成29年度予算編成に向けて(子育て・教育・高齢者問題)

朝子 直美議員……P 5

- ❖ 保育とまちづくりについて 他

西田 光宏議員……P 5

- ❖ 平成29年度予算編成にあたって(町政50周年記念事業の展開等・都市基盤整備)

渋谷 進議員……P 6

- ❖ 公共施設の老朽化について
- ❖ ゴミ収集について 他

北村 吉史議員……P 6

- ❖ 平成29年度予算編集に対して(防犯対策・水道事業と老朽化した施設整備・財源の確保)

※掲載内容は、一般質問をもとに各議員が作成しています。(質問順に掲載)

波多野 庇砂議員 (所属会派Ⅱのぞみ)



問 公共施設等の更新に伴う財政に係るリスクについて、毎年8億4,000万円が山本町政の絶対ノルマとなる。4年間で33億6,000万円となるが、達成への意欲を問う。

答 公共施設の老朽化問題は全国的な課題であり、「公共施設等総合管理計画」を28年3月に策定した。人口減少社会に突入し、本町でも将来人口の減少が見込まれる中で、更新費用等の確保は率直に困難であると考えている。

問 山本町政の答弁で更なる将来世代への負担の拡大を求めている。前町政で町債50億円を超える。任期内でいくらまで拡大するのか。

答 今後も後年度に元利償還金が交付税措置される

る有利な町債を有効的に活用し、事業実施を行う。

問 法人等からの税収が低迷している。対策を問う。

答 ピーク時より低迷しており、少子高齢化、人口減少、経済の低迷、など引き続き明るい展望を見出すことが困難な社会経済情勢である。

問 山本町政の2年間、更に今後について、都市計画税導入の提案時期及び課税時期について問う。

答 都市計画税の導入を公約として、信任を得た。しかるべき時期に関連議案を提出したい。

問 仮に都市計画税を創設しても根本的な財源不足となる。抜本対策を示されたい。

答 町制50周年の記念すべき節目を迎えるが、安定した財源として都市計画税を導入し、都市基盤施設の保持と増進を図る。

問 当町行政とシルバー人材センターとの関係について、リスク面、保険

適用等々について尋ねる。

答 さまざまな業務を委託している。リスク面、保険適用等について、受託業務中に事故が発生した際には、町の瑕疵に起因する場合を除き、業務受託のシルバー人材センター側での保険対応となる。

問 子ども地域安全見守り隊が加入する損害賠償制度の有無について問う。

答 「子供・地域の安心・安全活動支援事業」における見守り活動として、京都府で一括加入されているボランティア保険に加入いただいている。

問 中央公民館ホール閉鎖について、2つの公営保育所を合体し、長寿苑と共に複合化する案があったが、この際一気に具体化すべきと求めている。

答 建築後40年以上、別館については30年以上が経過し、幾つもの課題を抱えた施設だが、「公共施設等総合管理計画」に基づき、検討を進めている。

前川 光議員 (所属会派Ⅱ光会)



問 土砂災害防止法における土砂災害警戒区域(イエローゾーン)、及び土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)とはどのようなものか。

答 イエローゾーンは、土砂災害防止法に基づく「土砂災害警戒区域」のことを指し、土砂災害のおそれがある区域であり、レッドゾーンは、同法に基づく「土砂災害特別警戒区域」のことを指し、建築物が破壊され、住民に大きな被害が生じるおそれのある区域を示すものである。

問 イエローゾーン及びレッドゾーンの対象軒数、及び人数について尋ねる。
答 イエローゾーンの対象軒数は、担当課における手作業による抽出では

あるが、円明寺が丘団地の4階建てマンションにつきましては、1階部分のみを対象とし、443棟の建物がある。なお、対象人数の把握につきましては、さらに作業を要するものである。また、レッドゾーンの対象軒数につきましては、イエローゾーンと同様の抽出方法であるが、寺社仏閣を含み41棟。なお、対象人数につきましては、イエローゾーンと同様である。

問 レッドゾーンは固定資産税を減免しているが、その方法と総額はどうか。
答 本町において、面積の50%以上がレッドゾーンにかかる土地は、0・8の補正率を、面積の50%未満がレッドゾーンにかかる土地は、0・9の補正率を、それぞれ評価額に乗じることとして

いる。対象となる件数は、平成27年1月1日の時点において指定済みで、補正率を0・9としたものが28件、同じく補正率が0・8としたものが1件であり、平成28年1月1日の時点で追加指定され、補正率を0・8としたものが11件であり、現在は合計で40件。なお、補正による減税額は、平成27年度分で約22万6,000円、平成28年度分で約17万3,000円、合計で約40万円である。

問 町内の要支援者数を尋ねる。また、イエローゾーン及びレッドゾーンの要支援者数を尋ねる。
答 「避難行動要支援者名簿」に登録している方の人数は、557名である。なお、イエローゾーン及びレッドゾーン内の要支援者数につきましては、各ゾーンの対象者数と同様、人数の把握については、さらに作業を要するものである。

その他に、「町体育館の改修、及び中央公民館ホールの改修について」を質問しました。

岸 孝雄議員 (所属会派Ⅱ民主フォーラム)



1. 公共インフラ施設設備の維持整備改修事業の優先順位について

問 町内の公共インフラ施設・設備の耐用年数、年間補修状況等を考慮した更新及び整備に係る優先順位付けについて問う。

答 公共施設やインフラの整備については、利用者の利便性の向上や機能の向上、老朽化した施設を利用者に快適に利用していたため整備を計画的に行っているが、老朽化した施設の更新には膨大な費用がかかるため、人口減少や、それぞれの施設の利用状況や町政課題の解消を図る政策調整等も十分に加味したうえで、各々の建築経過年数や大規模改修後の経過年数による老朽度、使用頻

度や利用者数の状況、避難所等の機能併用などを含め、総合的に判断して最適な方策を考える必要がある。

問 中長期的財政収支に基づき施設更新等を計画的に実行するためのアセットマネジメントの必要性について

答 長期的な費用対効果、アセットマネジメントによる事業費の平準化は本町においても必要不可欠であると認識している。

2. 天王山の山林保全について(観光・環境・防災の観点から)

問 天王山の山林荒廃は深刻な状況にある。観光振興・環境・災害の防止等防災の観点から天王山の現状と山林保全の在り方について問う。

答 本町の森林面積は188haであり、そのうち約50haが放置竹林であることから、継続した整備を行うことで、水害・土砂災害対策の推進、獣害

対策の推進、農地の再生、森林の水源涵養機能の向上等の効果に繋がると考えており、これまで企業からの寄附金等を活用して毎年1ha程度の整備を進めている。心のふるさととなる山を後世に残すべく京都府が導入した森林環境税に基づく交付金も活用して企業、大学及び各種ボランティア団体との連携を図りながら景観、資源、災害など、あらゆる方面から天王山の整備を進めていきたい。



辻 真理子議員（所属会派Ⅱ日本共産党議員団）



1. 学校給食について。

問 小学校の給食室の老朽化について、公共施設等総合管理計画の個別計画に盛り込まれるのか。

答 小学校の校舎の耐震補強工事は完了しているものの、老朽化への対策は必要などであり、適切に長寿命化を進め、教育環境を整備していく必要があると認識している。

校舎の一部である給食室について、学校施設の整備計画となる個別計画において学校施設全体の中で総合的に考えていく。

問 「学校給食」を無料にする自治体が増えている。義務教育無償化の観点から言えば、給食費も無料であるべきだと考えるが、いかがか。

答 教育長

学校給食法の規定は、経費の負担関係を明らかにしたものであり、設置者（大山崎町）の判断で保護者の負担を軽減することは可能であると解釈されている。保護者負担の軽減は、財源確保が可能であれば、望ましいものであると認識しているが、現在学校給食費の無料化は考えていない。

再質問 「全員給食」は就学援助の対象となり保護者負担が軽減される。少なくとも毎年新学期に児童・生徒を通して全世帯に就学援助についての制度案内を配付すべきではないか。

答 校内配付に加え、HPでの周知にも努める。

2. 高齢者が車を使わずに暮らせる町づくりについて。

問 全国で高齢者の運転事故が頻発している。高齢者が車を使わなくても暮らせる町づくりが早急に必要と考える。高齢者

福祉の視点から、例えば社会福祉協議会と連携し乗合タクシー等を考えてはどうか。

答 「乗合タクシー」の導入について、現時点で具体的計画はないが、引き続き調査研究していく。

再質問 これまでも本町は、高齢者の外出支援等の方策の必要性は認識されている。何らかの対策は必要ではないか。

答 いわゆる公共交通空白地域であれば、交通弱者の移動手段の確保が急務であるが、町内の公共交通環境は比較的恵まれた環境であると認識している。

問 町内で買い物が出来る機会を増やすために、例えば移動販売店に町独自の補助を考えてはどうか。

答 町独自の補助は考えていない。引き続き町商工会と連携を図り、町内で買い物が出来る機会増加を含め商工振興に努める。

山中 一成議員（所属会派Ⅱ大山崎クラブ）



平成29年度予算編成に向けて

問 子育てについて。

(1) 小規模保育の進捗を尋ねる。

(2) 保育所民営化の進捗を尋ねる。

答 (1) 「京都がくえん保育園」が、1歳児、2歳児を対象に定員18名、「ひかり保育園大山崎町」は、0歳児から2歳児までを対象とした定員12名の、どちらも小規模保育A型事業所を開設。また、「ひかり保育園大山崎町」については、かねてから要望があった病児・病後児保育事業を事業併設で整備し、平成29年4月の開所に向けて鋭意準備作業を進めている。

(2) 保育所の選定、用地の確保策、また、保育の質や

量の確保や財源の確保などを考慮しながら、町有地を活用して、民営化する保育所の選定についても最終段階の協議を行っている。

問 教育について。

(1) 町体育館改修に向けた進捗について問う。

(2) 大山崎中学校への特別支援教育支援員配置後の現況、及び同校の特別支援教育体制の充実に向けた取り組みの進捗を尋ねる。

答 (1) 来年度予定している改修工事にかかる、現段階における概算費用は、施工監理委託料約1,500万円を含め、約5億6,000万円であり、その内訳としましては、防水改修工事で約9,000万円、空調改修工事で約1億4,000万円、天井照明改修工事で約2億1,000万円、ユニバーサルデザイン化改修工事で約5,000万円、エレベータ設置改修工事

で約4,500万円、フロアー改修工事等で約1,000万円となっている。そして、設計業務と並行して、改修工事にかかる財源確保のため、緊急防災・減災事業債、広域的スポーツ施設充実支援事業補助金及びスポーツ振興くじ「tototo」の地域スポーツ施設整備助成を得るための手続きを行っている。

(2) 本年度に引き続き、京都府の「生徒支援加配」と、町単費の「特別支援教育支援員」の予算を要望し、発達障害に対する専門的な知見や技能を持った支援員の確保に努める。

問 高齢者問題について。地域公共交通について、町長の考えを尋ねる。

答 地域公共交通会議で議論する交通政策よりもむしろ、高齢者福祉の観点から、その課題解決を図るべきであると認識をしている。

朝子 直美議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



保育とまちづくりについて

問 子育てのまち大山崎をアピールするため、評価の高い本町の保育を「大山崎町基準」などとして、明文化してはどうか。

答 本町の各保育所では、天王山への散歩に象徴される、本町の地理的特性を存分に生かした体力づくりに重点を置いた保育を実践しており、多くの保護者から高く評価を受けていること、また、この間、年度当初の待機児童を発生させていないことも合わせ、大山崎町が子育てのまちとして十分にアピールできるものと認識している。

さらなる子育て支援として、町長公約である保

育所の民営化が、本町の保育に新たな風を吹き込み、その恩恵を子育て世代が享受し、結果として若年世代の定住化を促進し、町の活性化につながっていくことが、私の目指しているまちづくりの姿である。

再質問

保育所民営化に向けて「最終調整の段階」とのことだが、今議会に提案されている第二大山崎小学校のプールと学童保育所を校内に移転した跡地に民間園をつくるのか。

答 跡地の活用については鋭意検討中であり、明言できる段階にない。

問 当該跡地には「民間園はつくらない」と、ここで明確に言えるか。

答 協議中であり申し上げるレベルでない。

問 町長は以前「民営化を進めるにあたって保護者の意見も聞き進めていく」と述べておられる。最終調整の段階になった

今、いつから、どのようなプログラムで意見交換をすすめていくのか。

答 二元代表制である議会が最高の意志決定機関であるので、ここで協議して決まったことを報告していくと考えている。

問 公立保育所を、より良くするための改革案を町長はお持ちか。

答 各保育所長としっかりと話しをしながら、変えられることは柔軟に対応していきたいながら保育を行っているので、現状を大きく変える考えはなく、今は今で対応していけばよい。民間参入によって公立も変わるチャンスになる。

その他に「原子力災害への対応について」も質問しました。



西田 光宏議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



平成29年度予算編成にあたって

問 (1)町政50周年記念事業の展開等について。

昭和42年11月3日に大山崎町が誕生した。

平成29年は節目の50周年にあたり、このチャンスに当町発展へと繋がる記念事業を実施する必要があると考える。また、次年度の周年事業と絡めた東京オリンピック「ホストタウン」事業の現状と今後の展開を尋ねる。

答 (1)11月3日の記念日付近で参加型の催しや未来に向けた「町の歴史・まちづくり・自治」等のシンポジウムも考えている。50年の節目に大山崎町を内外にPRし、多くの方を呼び込み地域の活性化を図る事業も展開したい。

たい。ホストタウン事業

に関してはキックオフイベントとして、スイス名誉総領事のご臨席をいただき12月18日「大山崎町スイスフェア2016」を開催。2月4日に大山崎中学校で生徒対象のパラリンピアンによる講演会を開催。1月からは小学校ならびに保育所において、一定期間スイス料理を取り入れた給食を検討する等で事業の周知・啓発につなげたい。

問 (2)都市基盤整備について。

生活幹線道路を中心とした歩道整備による自転車通行・歩行者の安全確保は我が町の重要な施策課題である。府道の改良整備に関してもいまだ十分ではなく、国道からの迂回車両の流入は大変多く危険であるため、現状及び今後の整備予定について尋ねる。

答 (2)この2年間は都市基盤整備を積極的に進め

ており、歩行者の安全確保を含め京都府とも協議を行ってきた。町道1号から天王山古戦橋に接続する北側の一部区間は、通学路の交通安全プログラムと位置づけ、国の交付金事業を活用しながら進捗を図りたい。府道に関して大山崎大枝線・西京高槻線の一部では、歩道の段差解消と幅員を1・5に拡幅・側溝の改修工事などが進められている。現在阪急大山崎駅から茶屋前公園までの歩道段差解消工事を関係機関と協議中である。



その他に、JR山崎駅のバリアフリー化について、進捗状況と今後の見通しや観光面、DMOの進捗状況について尋ねました。

渋谷 進議員 (所属会派Ⅱ日本共産党議員団)



1. 公共施設の老朽化について

問 公共施設の老朽化対策は全国的な問題であり、大山崎町においても重要な課題である。

そもそも、老朽化対策は公共施設全部の状況を把握したうえで必要性等も考慮して全体計画から個別計画へとすすめるべき事は、町が「公共施設等総合管理計画」を作る際に示した姿勢である。

ところが、突然の町体育館大改修計画、突然の中央公民館一部閉鎖等、この一年間行ってきた施策は極めて恣意的なものであり、町民から、町の対応は町民要望には答えを示さない一方で、唐突に町が提案するプランは町民の意向も聞かず一方

的に進めると批判が強い。12月議会直前には同様の手法で、第二大山崎小学校プールの校内移設と学童保育の空教室移転が提案された。

そこで、(1)公共施設老朽化対策は、総合管理計画に基づき進めるべきとの考えに対する町の見解は。(2)中央公民館問題と老朽化対策との関係は。

(3)この一年提案された施設改修等と老朽化対策の全体像との関係を問う。

答 (1)「公共施設等総合管理計画」で定めた基本方針を基に今後その取り組みを進めていく考えである。(2)中央公民館と周辺施設について長寿命化・複合化を含めた計画策定に向けて検討を進めている。(3)町体育館については防災避難拠点機能向上を目指し設計業務を行っている。

再質問 第二大山崎小学校の計画は今の遊びの環境から大きく変化すること

とは明らかではないか。
答 安心・安全を最優先に確保し、保護者の信頼にこたえたい。

2. ゴミ収集について

問 本町の家系系ゴミの減量は町民努力によって当初計画を大きく超過達成している。また収集方式によって、百リットル制限の実効性で町民の間に不平等が生じている。この制限を廃止すべきと考える。

そこで、(1)百リットル制限を定めた理由を問う。(2)減量化計画が半ばで超過達成した実績に鑑み一回百リットル以上有料を廃止すべきに

対する町の考えはいかがか。(3)更なるゴミ減量化には町民合意形成が最重要に對する町の考えを問う。
答 (1)ゴミ減量の動機となるよう、百リットル以上を有料とした。(2)ゴミ減量については引き続き取り組みが必要である。(3)住民理解を深めゴミ減量を進めるために、今後も広報活動に努める。

北村 吉史議員 (所属会派Ⅱ大山崎クラブ)



平成29年度予算編成に対して

問 防犯対策について。28年度の防犯カメラ設置事業の進捗状況はいかがか尋ねる。

答 向日町警察署と連携を図り、慎重に協議を行い、防犯カメラの仕様選定、設置場所を検討している。

問 近年、性犯罪は重大事案になる場合が多く、特に駅周辺では犯罪発生が多い、犯罪抑止と住民の安心・安全の観点から平成29年度以降も継続して防犯カメラの更なる設置を望むが。
答 防犯カメラが犯罪抑止のみならず、犯罪捜査にも重要な役割を担っていることは十分認識しており、しっかりと検討す

る。

問 水道事業と老朽化した施設整備について。

平成27年度決算では、河原崎町長時代以降、初めて黒字決算になったことを大いに評価したい。まだまだ状況は厳しいと思うが、今後の展開と、老朽化した施設整備とライフラインを再整備する必要があるかがか尋ねる。

答 会計方式の変更と京都府との協調により僅かながら単年度黒字になった。今後のさらに京都府に対し要望を行い事業の構造改革を進める。施設整備については、耐震・水害に強い施設の早期完成に向け、第1期水道施設整備計画に準じて進めていく。また管路の耐震化も計画的に進める。

問 町政の課題は山積している中、町政施行50周年を迎える平成29年度予算の財源は厳しいものがあると考えるが財源の確

保について問う。

答 これまで過去からの町政において課題を先送りしてきたのは、結局のところ財源の問題であった。財源確保のための不



12月議会

こんなことが 決まりました

平成28年 第4回定例会

平成28年度一般会計補正予算案9,600万円増額で可決

平成28年第4回定例会は、11月30日から12月19日の20日間を会期として開きました。今定例会には10件の議案が提案され、全て原案可決しました。なお、一般会計補正予算に対する修正動議は賛成少数で否決しました。結果は11ページをご参照ください。

補正予算の審査から

予算決算常任委員会

12月13日(火)午前10時から第一委員会室で付託議案第71号議案から第76号議案までの議案を審査し、全ての議案を原案可決しました。

本会議におきまして、補正予算(第4号)の原案に対し修正動議が発議者より提出されましたが、賛成少数で否決しました。

補正予算増額の内容では、臨時福祉給付金事業・ふるさと応援寄附金事業に増額しました。

第二大山崎小学校のトイレ改修工事につきましては、国庫補助(学校施設環境改善国庫交付金)を利用して、平成29年4月以降に実施の予定です。

放課後留守家庭児童施設の第二大山崎小学校内移転と、プール移転の設計委託料及び既存施設の解体工事設計委託について補正しました。

小規模保育所

京都がくえん保育園への補助金が増額、ひかり保育園大山崎町が開所します

待機児童解消加速化対策として国からの交付率が増えたことによる提案でした。

京都がくえん保育園では、4月から1歳、2歳児定員18名で保育を開始されます。また、町内2ヶ所目となるJ・R山崎駅前の小規模保育所(ひかり保育園大山崎町)は6ヶ月〜2歳までの定員12名、病児・病後児保育は、6ヶ月〜小学6年生まで利用ができ、一日5名まで受入れが可能となります。



京都がくえん保育園



ひかり保育園完成予想図

ふるさと納税の事務委託費用が予算提案されました

現在行われているふるさと納税での、システム利用料また支援事業委託の予算として450万円が提案されました。これは大山崎町へのふるさと納税が見込みよりも大幅に上回る寄付があり、発送等の事務委託料の補正が必要になったことによります。

平成28年12月までで約670件3,600万円のふるさと納税がありましたとの報告を受けました。

臨時福祉給付金への予算が提案されました

臨時福祉給付金は、(消費税増額後の低所得者対策・逆進性対策)経済対策とし国が提案しているものです。課税者に扶養されていない住民税が非課税の住民に対して、消費税増額の負担を1年に6,000円と試算し、2年半分を前倒しで臨時給付金として支給するものです。支給額は1万5,000円で、支給事業は平成29年〜平成31年の2年6か月分を一括で支給される制度です。



各委員会の審査から

総務産業常任委員会

12月9日(金)午後1時30分から第一委員会室で第67号議案から第70号議案までを審査しました。

- ・ 大山崎町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について(全員賛成)
- ・ 大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正について(賛成多数)
- ・ 京都地方税機構規約の変更について(賛成多数)

総務産業常任委員では4議案を慎重審査し、全ての議案が原案可決となりました。

☆他に同報系防災無線整備にかかる屋外子局配備について報告を受けました。

町議会議員報酬等の条例、特別職常勤者の給与等の条例の一部改正ならびに町職員の給与等の条例の一部改正され、町職員等の給与の一部改定を賛成多数で可決しました。

なお、この給与改定は人事院勧告を参考に算定されたものです。

人事院勧告とは、国家公務員の給与や勤務条件等の改善を政府に求める制

度であり国の機関である人事院が、国家公務員の一般職職員の「給与その他の勤務条件の改善及び人事行政の改善に関する勧告」であり、職員給与を決定する要素として、毎年国民一般の標準的な生活費用(標準生計費)と民間賃金の調査結果をもとに算定した額を参考に官民給与の比較を行い、職員の給与を民間給与にあわせることを基本として国会及び内閣に勧告するものです。

建設上下水道文教厚生常任委員会

12月12日(月)午後1時30分から第一委員会室で開催し、町から報告・説明がありました。

報告事項

福祉課より

- ・ 小規模保育事業の進捗状況について建設課より
- ・ 府道大山崎大枝線の道路工事について

- ・ 大山崎町緑の基本計画(案)のパブリックコメントについて
- ・ 学校教育課より
- ・ 学校給食検討委員会について

・ 大山崎町中学校給食検討委員会の開催状況について

【中学校給食検討委員会の内容】

大山崎中学校における給食導入について検討を目的とし、検討委員には、有識者、保護者代表、学校代表、栄養

士、その他教育委員会が適当と認めた方、8名で構成されています。

第一回検討委員会(平成28年10月6日)

◇委員会の設置

- ・ 全体スケジュール
- ・ 学校給食の現状(本町の給食の現状／近畿圏における実施状況)
- ・ 基本方針及び実施条件について(喫食形態／アレルギー対応／食育等)

・ 給食の実施方式について

・ 大山崎立両小学校給食施設及び大山崎中学校の校舎及び敷地の視察。

事例視察(平成28年10月21日)

◇親子方式(大阪府島本町)

- ・ 視察場所の特色把握
- ・ 今回検討内容へのフィードバック等

第二回検討委員会(平成28年10月27日)

◇実施方式の検討

◇給食指導の検討・事例視察の結果報告

- ・ 実施方法による課題抽出
- ・ 実施方ごとの比較検討
- ・ 食育・地産地消について
- 事例視察(平成28年11月8日)
- ◇センター方式(京都府宇治田原町)
- ・ 視察場所の特色把握
- ・ 今回検討内容へのフィードバック等

第三回検討委員会(平成28年11月17日)

◇実施方式の検討

◇概算要求

- ・ 視察事例の特色把握
- ・ 実施方法による課題抽出
- ・ 実施方ごとの比較検討・概算要求

第四回検討委員会(平成28年12月15日)

◇実施方式の検討

- ◇取りまとめ
- ・ アンケート調査結果
- ・ 実施方式による課題の整理等
- ・ 報告書成案の取りまとめについて

平成29年3月議会では設計予算を計上され、中学校給食実施に向けて予算提案される予定です。



議会豆知識

12月議会では、議案第71号議案 平成28年度大山崎町一般会計補正予算(第4号)に対する修正動議の提出が議員者からありました。

このような場合の取り扱い方を説明いたします。

☆修正動議が提出された場合
原案を議題とした際に修正案を併せて議題とします。

(修正案は本案に付随するものです)

【議場の流れ】

修正動議提案者の説明

← 修正案に対する審議

← 討論

(討論の順序)

- ① 原案賛成の討論
- ② 原案、及び修正案反対の討論
- ③ 修正案賛成の討論

← 採決

(採決の方法)

- ① 修正案可決の場合↓修正議決した部分を除く部分の原案の採決
- ② 修正案否決の場合↓原案を採決
(修正案・原案ともに否決の場合もありえますが、今回説明は省略いたします)

☆今回大山崎町議会では、この手順で修正動議を審議・討論をしたうえで、議会の規則に従い採決しました。

予算決算常任委員会の流れと内容の一部を紹介します。

第71号議案 一般会計補正予算(4号)から第76号議案 水道事業会計補正予算(第1号)

審査順1

議会費
《質疑》

審査順2

総務費
・ふるさと納税制度支援業務委託料の補正。六月一日の返礼品用意後は、想定を上回る寄附があつた。全国的に十一月・十二月は寄付金が集中する傾向にあり、特に十二月寄附額は多くなる。委託料は寄附額に応じて増減するが、当初の見込みを大幅に上回る寄附を収納しているため、緊急に補正するもの
《質疑》
消防費
《質疑》
公債費
《質疑》

審査順3

民生費・保育対策総合支援事業費補助金、小規模保育事業整備事業債の特定財源である保育対策総合支援事業費補助金の補助額変更
《質疑》

衛生費(保険衛生費)

《質疑》

国民健康保険事業《質疑・採択》

介護保険事業《質疑・採択》

後期高齢者医療保険事業《質疑・採択》

審査順4

衛生費(清掃費)

《質疑》

商工費

《質疑》

土木費

《質疑》

災害復旧費

《質疑》

下水道事業費

《質疑・採択》

水道事業費

《質疑・採択》

審査順5

教育費

《質疑》

審査順6

総括質疑・採決

予算委員会では、提出された議案をこの様な順番で審査していきます。傍聴の際の参考にしてください。



議員が参加したイベントなど(抜粋)

大山崎町スイス フェア2016

平成28年12月18日
アサヒビール大山崎
山荘美術館庭園で「大
山崎町スイスフェア2
016」が開催され、在
日スイス名誉領事が来
訪されました。
(ホストタウン事業の
一環です)



第1回大山崎町 天王山カップ少年 少女フェンシング 大会

平成28年12月25日
大山崎町体育館で
フルーレ個人戦 小学
生・中学生の大会が開
催され、全国から集ま
った選手が勝負の聖地
で熱い戦いを繰り広げ
ていました。



平成29年大山崎町 消防出初式

平成29年1月8日
午前9時～午前11時
当日は雨天のため、
屋外でのイベントとし
て予定されていた一斉
放水はあいにく中止と
なり、大山崎町体育館
小体育室で式典のみが
開催されました。



第64回大山崎町 成人式

平成29年1月9日
午前10時～正午
大山崎町体育館小体
育室で式典が催されま
した。
式辞・祝辞の後に新
成人によるくす玉割り
が行われました。その
後、記念写真の撮影が
ありました。



手作りの成人を 祝う会

平成29年1月9日
長岡京市中央公民館
で開催されました。
今年は乙訓在住の12
名が成人となり、町在住
の2名も保護者、友人、
卒業校の先生、そして福
祉施設の職員等多くの
方から祝福されました。



スイス大使が大山崎 町長を表敬訪問

平成29年2月8日
大山崎町が取り組
む「2020年東京オ
リンピック・パラリン
ピック競技大会」のホ
ストタウン認定を受け
ジャン・フランソワ・
パロ駐日スイス大使が
表敬訪問されました。



議案に対する各議員の表決結果をお知らせします！

【賛成：○ 反対：×】(議席順に掲載)

第4回 定例会

賛否が分かれた議案等

議案番号 ※	議 案 名	議決結果	西 田 光 宏	森 田 俊 尚	山 中 一 成	北 村 吉 史	岸 孝 雄	高 木 功	辻 真 理 子	朝 子 直 美	渋谷 進	前 川 光	波 多 野 底 砂	小 泉 満
67	大山崎町農業委員会の委員の定数に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	議長の ため採決 には加わ らない
68	大山崎町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び特別職の職員で常勤の者の給与及び旅費に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	
69	大山崎町職員の給与に関する条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	
70	京都地方税機構規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	
71	平成28年度大山崎町一般会計補正予算(第4号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	
請願 4号	「自衛隊に対する『駆けつけ警護』の任務を撤回し、南スーダンからの即時撤退を求める意見書」を内閣及び国会に提出する事を求める請願書	不 採 択	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	
意見 9号	南スーダンからの自衛隊の撤退を強く求める意見書案	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	議長の ため採決 には加わ らない
発議 1号	第71号議案 平成28年度大山崎町一般会計補正予算(第4号)に対する修正動議	否 決	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	

全員が賛成であった議案等

議案番号	議 案 名	議決結果
72	平成28年度大山崎町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
73	平成28年度大山崎町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決
74	平成28年度大山崎町介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
75	平成28年度大山崎町後期高齢者医療保険事業特別会計補正予算(第2号)	原案可決
76	平成28年度大山崎町水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決
請願3号	私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願書	採 択

※議案番号は平成28年第1回定例会からの通し番号です。

提出された請願

私立幼稚園保護者負担軽減並びに幼児教育振興助成に関する請願書

- 請願項目
- 保護者助成の増額
 - 第2子・第3子の入園料補助
 - 設置助成金の増額・運営費の助成
 - 幼稚園への財政措置

審議結果 全員賛成により採択

「自衛隊に対する『駆けつけ警護』の任務を撤回し、南スーダンからの即時撤退を求める意見書」を内閣及び国会に提出する事を求める請願書

審議結果 賛成少数により不採択

議会のうごき

(平成28年12月20日～平成29年2月19日)

●閉会中の委員会開催など

★議会運営委員会

1月24日(火)

第1回定例会の日程

2月16日(木)

第1回定例会予定付議事件説明
本会議の運営について

★広報常任委員会

1月23日(月)

2月13日(月)

〔広報編集会議〕

12月20日(火) 1月13日(金)

1月25日(水)

〔議会だより第79号作成〕

★全員協議会

1月24日(火)

第二大山崎小学校プール・放課後
児童クラブ移設計画の状況報告
について

2月16日(木)

第二大山崎小学校プール移設後
の跡地利用について

●視察・研修

★乙訓市町議会議長会議議員研修会

1月27日(金)

テーマ

アートを地域のOSに

講 師

NPO法人BEP P U P R O
J E C T代表理事
山出 淳也氏

会 場

長岡京市立産業文化会館



ご意見・ご感想等が
ありましたら、町議
会事務局までお寄
せください。

☎618・8501

大山崎町字円明寺小字夏目3番地
(右の郵便番号を記入すれば住所
は省略できます)

大山崎町議会事務局 まで

電 話(075)956・2101

Fax(075)953・6020

皆様の傍聴を

歓迎します!!

―3月議会の日程をお知らせします。
ぜひ、傍聴にお越しください―

第1回定例会(3月議会)の日程

(予定)

2月23日(木)

27日(月)

3月2日(木)

3日(金)

6日(月)

7日(火)

8日(水)

9日(木)

10日(金)

13日(月)

14日(火)

16日(木)

22日(水)

本会議(開会)
全員協議会
議会改革特別委員会
本会議(一般質問)
本会議(一般質問)
総務産業常任委員会
建設上下水道文教
厚生常任委員会
予算決算常任委員会
予算決算常任委員会
予算決算常任委員会
予算決算常任委員会
予算決算常任委員会
広報常任委員会
本会議(最終日・採決)

※本会議及び予算決算常任委員会は
午前10時開会予定。
その他の委員会は、
午後1時30分開会
予定。



編集後記



議員任期4年の折り返しを過ぎ、
委員会配属が代わり、新しい広報
委員会がスタートいたしました。
議会広報誌は平成27年3月1日
号から、議会改革の一環として
我々議員が編集し紙面づくりをし
てまいりました。

前委員長からの申し送りで、公
平性を担保することに苦慮したこ
とや、議会の議論等をわかりやす
くお伝えする編集の難しさなどを
聞きました。

今回の広報誌にも、議員それぞ
れが発信者としての自覚と意義を
踏まえながら、一般質問の内容と
その答弁をまとめております。ま
た、定例会開催・閉会中に関わら
ず、議会の動きがあるときは、皆
様にお伝え出来るような紙面づく
りに努力してまいります。

ご意見、ご感想などが有りましたら
お聞かせいただきますようお願い
いたします。

広報常任委員会

西田 光宏 委員長

辻 真理子 副委員長

岸 孝雄 委員

高木 功 委員

前川 光 委員

波多野庇砂 委員

小泉 満 委員

委員長 西田 光宏